

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 nms ホールディングス株式会社
 コード番号 2162 URL <http://www.n-ms.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東

(氏名) 小野 文明

(氏名) 河野 寿子

TEL 03-5333-1711

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	31,108	12.2	276	15.1	203	△7.7	34	△45.7
2019年3月期第2四半期	27,719	2.9	239	△59.8	220	△63.5	62	△89.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △80百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 △173百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	1.99	—
2019年3月期第2四半期	3.66	3.65

(注) 2020年3月期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
2020年3月期第2四半期	31,627		5,573		17.6	
2019年3月期	29,462		5,744		19.5	

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 5,562百万円 2019年3月期 5,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	24.7	1,300	136.9	1,000	75.6	850	104.5	49.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社(社名) TKR DE MEXICO S.A. de C.V. 除外 1社(社名) -

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	21,611,000 株	2019年3月期	21,611,000 株
2020年3月期2Q	4,449,726 株	2019年3月期	4,449,726 株
2020年3月期2Q	17,161,274 株	2019年3月期2Q	17,161,274 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2019年11月14日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算補足説明資料については、開催後速やかにTDnetに開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国の保護主義的な動きとその影響、それらも含めた中国を始めとする新興国・資源国経済の動向や英国のEU離脱に向けた調整が難航していることも加わり、全体としては景気の減速傾向が強まりつつ推移しました。

わが国経済においても、雇用情勢の改善傾向は続いているものの、外需の弱さを背景に停滞感が強まりました。

このような状況のもと、当社グループにおいては、変化を好機に攻めの施策で成長基盤を構築すべく、2019年2月8日公表の「新中期経営計画」に基づき、アクションプランの確実な実行と投資効果の刈り取りを図るべく活動を開始しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高31,108百万円（前年同四半期比12.2%増）となり、営業利益については国内外における、新規拠点立ち上げなど成長戦略の実行に伴うコスト負担もあり、276百万円（前年同四半期比15.1%増）となりました。経常利益は203百万円（前年同四半期比7.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34百万円（前年同四半期比45.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① HS事業（ヒューマンソリューション事業）

当第2四半期連結累計期間におきましては、国内HS事業の製造派遣・製造請負事業においては、新卒採用や外国人技能実習生の活用もあり、採用力の強化と共に定着率の向上を図ることができました。成長戦略としてその施策を進めている外国人技能実習生向け研修事業における先行投資コストが残ったものの、技術者派遣事業や物流3PL*受託・テクニカル流通加工事業会社（nms ロジスティクス&テクニカルソリューション株式会社）は堅調に推移し、今後の拡大に向けた施策実行を進めています。

海外HS事業は、インドネシア及びラオスにおける、事業立ち上げに伴うコストの発生があったものの、ベトナム拠点（NMS VIETNAM CO., LTD.）における新規受注による労働生産性悪化も改善傾向となり、ASEAN及び中国ともに概ね堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、10,791百万円（前年同四半期比17.9%増）、セグメント利益は254百万円（前年同四半期比72.5%増）となりました。

* 3PL：サードパーティー・ロジスティクス

② EMS事業（エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業）

当第2四半期連結累計期間におきましては、国内EMS事業は、米中貿易摩擦等の影響もあり、工作機械関連の需要減少の影響がありました。

海外EMS事業におきましては、ASEAN及び中国における需要は引き続き堅調に推移しました。利益面では、重点施策として進めているベトナム・米国・メキシコ拠点の事業立ち上げに係る先行投資コスト等の利益圧迫要因があり、前年対比では減益となりましたが、全体としては想定した計画どおりに推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、13,780百万円（前年同四半期比6.5%増）、セグメント利益は68百万円（前年同四半期比56.2%減）となりました。

③ PS事業（パワーサプライ事業）

当第2四半期連結累計期間におきましては、前事業年度より既存製品の需要調整や新規分野への製品投入までの端境期を脱したこともあり、売上は堅調に推移しました。

利益面につきましても、前事業年度に発生した急激な部材調達価格の上昇に対する売価是正の対応が順調に進み、想定を上回る利益を確保できました。

この結果、当セグメントの売上高は、6,535百万円（前年同四半期比16.3%増）、セグメント利益は190百万円（前年同四半期比4.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産及び負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、22,521百万円となり、前連結会計年度末に比べ439百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び掛金金が527百万円、その他流動資産が88百万円増加した一方で、現金及び預金が145百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は、9,106百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,725百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が1,267百万円、無形固定資産が396百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は、31,627百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,165百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、21,909百万円となり、前連結会計年度末に比べ165百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が849百万円、未払消費税等が154百万円、賞与引当金が136百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が974百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は、4,145百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,171百万円増加いたしました。これは主にその他固定負債が1,716百万円、長期借入金が424百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は、26,054百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,336百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、5,573百万円となり、前連結会計年度末に比べ171百万円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定が113百万円、利益剰余金が57百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は17.6% (前連結会計年度末は19.5%) となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、4,044百万円（前年同四半期は4,213百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は556百万円（前年同四半期は1,037百万円の使用）となりました。これは主に、減価償却費の計上483百万円、長期未払金の増加額386百万円、その他の固定負債の増加額1,312百万円等による資金の獲得となった一方で、売上債権の増加額630百万円、仕入債務の減少額940百万円等による資金の使用となったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,838百万円（前年同四半期は1,619百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出952百万円、事業譲受による支出845百万円等による資金の使用となったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は1,169百万円（前年同四半期は2,521百万円の獲得）となりました。これは主に短期借入金の純増額1,140百万円、長期借入れによる収入626百万円等による資金の獲得となった一方で、長期借入金の返済による支出406百万円、配当金の支払額85百万円等の資金の使用となったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日において発表いたしました「2019年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の通りであります。

なお、当該業績予想は現時点での情報をもとにしておりますので、今後、業績動向の変化を与える事象が生じた場合等には業績予想を変更する場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,246,966	4,101,582
受取手形及び売掛金	10,761,029	11,288,700
製品	1,324,952	1,365,337
仕掛品	589,589	507,595
原材料及び貯蔵品	4,181,589	4,201,911
その他	978,784	1,067,360
貸倒引当金	△681	△10,582
流動資産合計	22,082,231	22,521,904
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,174,187	1,166,687
その他(純額)	4,438,310	5,713,209
有形固定資産合計	5,612,497	6,879,896
無形固定資産		
その他	540,104	936,491
無形固定資産合計	540,104	936,491
投資その他の資産		
その他	1,233,958	1,295,808
貸倒引当金	△6,119	△6,119
投資その他の資産合計	1,227,838	1,289,688
固定資産合計	7,380,441	9,106,077
資産合計	29,462,672	31,627,982
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,486,367	3,512,049
短期借入金	13,073,800	13,923,045
未払金	1,914,296	2,055,499
未払法人税等	193,065	227,149
未払消費税等	269,845	424,669
賞与引当金	477,113	613,540
その他	1,329,616	1,153,177
流動負債合計	21,744,105	21,909,131
固定負債		
長期借入金	1,212,540	1,637,006
繰延税金負債	140,636	161,045
退職給付に係る負債	263,325	273,885
その他	357,093	2,073,531
固定負債合計	1,973,595	4,145,469
負債合計	23,717,701	26,054,600

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,690	500,690
資本剰余金	527,182	527,182
利益剰余金	6,118,794	6,061,604
自己株式	△909,838	△909,838
株主資本合計	6,236,828	6,179,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△51,807	△53,078
為替換算調整勘定	△450,920	△564,558
その他の包括利益累計額合計	△502,728	△617,636
新株予約権	3,056	3,056
非支配株主持分	7,813	8,322
純資産合計	5,744,970	5,573,381
負債純資産合計	29,462,672	31,627,982

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	27,719,935	31,108,438
売上原価	24,050,375	27,193,155
売上総利益	3,669,559	3,915,282
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	1,147,611	1,391,103
賞与引当金繰入額	140,217	121,643
その他	2,142,003	2,126,531
販売費及び一般管理費合計	3,429,832	3,639,278
営業利益	239,727	276,004
営業外収益		
受取利息	8,412	8,201
受取配当金	2,331	687
不動産賃貸料	19,377	20,658
消費税差額	194,210	-
助成金収入	-	127,500
その他	41,807	48,416
営業外収益合計	266,140	205,464
営業外費用		
支払利息	88,933	102,345
為替差損	129,525	143,230
不動産賃貸原価	15,021	13,642
外国源泉税	3,988	1,887
その他	48,394	17,204
営業外費用合計	285,863	278,310
経常利益	220,003	203,157
特別利益		
固定資産売却益	772	3,622
投資有価証券売却益	38,794	-
特別利益合計	39,566	3,622
特別損失		
固定資産除却損	14	1,809
事業構造改革費用	48,113	-
特別損失合計	48,127	1,809
税金等調整前四半期純利益	211,442	204,970
法人税等	146,105	170,749
四半期純利益	65,336	34,221
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,468	65
親会社株主に帰属する四半期純利益	62,867	34,155

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	65,336	34,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,794	△1,271
為替換算調整勘定	△189,657	△113,832
その他の包括利益合計	△238,451	△115,103
四半期包括利益	△173,115	△80,882
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△175,983	△80,752
非支配株主に係る四半期包括利益	2,868	△129

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	211,442	204,970
減価償却費	396,377	483,261
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,147	149
賞与引当金の増減額 (△は減少)	146,601	138,028
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△171,107	10,901
受取利息及び受取配当金	△10,744	△8,889
助成金収入	-	△127,500
支払利息	88,933	102,345
為替差損益 (△は益)	△6,099	△3,390
固定資産売却損益 (△は益)	△772	△3,622
投資有価証券売却損益 (△は益)	△38,794	-
事業構造改革費用	48,113	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△592,135	△630,400
未収入金の増減額 (△は増加)	△24,339	△84,992
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△307,137	141,588
仕入債務の増減額 (△は減少)	△367,408	△940,963
未払金の増減額 (△は減少)	432,541	△261,471
未払費用の増減額 (△は減少)	△11,943	△102,291
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△533,568	233,644
預り金の増減額 (△は減少)	△6,156	△69,196
長期未払金の増減額 (△は減少)	100,938	386,924
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	-	1,312,979
その他	70,705	△51,158
小計	△575,700	730,915
利息及び配当金の受取額	4,213	8,102
助成金の受取額	-	65,500
利息の支払額	△89,475	△102,606
法人税等の支払額	△428,170	△153,965
法人税等の還付額	99,281	8,659
事業構造改革費用の支払額	△48,113	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,037,965	556,605

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△32,083	△29,928
定期預金の払戻による収入	44,208	23,699
有形固定資産の取得による支出	△1,510,544	△952,048
有形固定資産の売却による収入	2,731	3,622
無形固定資産の取得による支出	△39,136	△39,572
投資有価証券の売却による収入	78,703	-
関係会社株式の取得による支出	△10,192	-
敷金及び保証金の差入による支出	△59,896	△17,261
敷金及び保証金の回収による収入	40,611	13,500
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△126,854	△1,591
長期貸付けによる支出	△16,939	-
長期貸付金の回収による収入	16,765	-
事業譲受による支出	-	△845,433
その他	△7,228	6,912
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,619,857	△1,838,102
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,957,897	1,140,265
長期借入れによる収入	1,292,500	626,888
長期借入金の返済による支出	△300,411	△406,583
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△77,039	△78,992
割賦債務の返済による支出	△21,860	△26,611
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△247,929	-
連結の範囲の変更を伴わない子会社出資金の取得による支出	△7,080	-
新株予約権の発行による収入	3,056	-
配当金の支払額	△77,330	△85,270
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,521,801	1,169,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	△129,479	△60,234
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△265,500	△172,035
現金及び現金同等物の期首残高	4,449,109	4,195,496
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	30,371	20,696
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,213,980	4,044,157

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、事業譲受により株式取得した TKR DE MEXICO S. A. de C. V. を連結の範囲に含めております。なお、同社は当社の特定子会社に該当しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	HS事業	EMS事業	PS事業	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高						
(1)外部顧客への売上高	9,155,385	12,942,877	5,621,671	27,719,935	—	27,719,935
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	31,924	321,023	31,207	384,155	△384,155	—
計	9,187,310	13,263,901	5,652,878	28,104,090	△384,155	27,719,935
セグメント利益	147,707	157,272	182,653	487,633	△247,906	239,727

(注) 1. セグメント利益の調整額△247,906千円には、セグメント間取引消去2,604千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△250,510千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	HS事業	EMS事業	PS事業	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高						
(1)外部顧客への売上高	10,791,542	13,780,952	6,535,943	31,108,438	—	31,108,438
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	23,516	696,830	172,417	892,764	△892,764	—
計	10,815,059	14,477,783	6,708,360	32,001,203	△892,764	31,108,438
セグメント利益	254,727	68,832	190,222	513,783	△237,778	276,004

(注) 1. セグメント利益の調整額△237,778千円には、セグメント間取引消去586千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△238,365千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

EMS事業において、Sony Electronics Inc.の事業部門「Sony Service and Operations of Americas」に関連する事業を譲り受けており、当該事業譲受により TKR DE MEXICO S.A. de C.V.の株式を取得したため、同社を第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

当該事象によるのれんの増加額は、294,050千円であります。

なお、のれんの金額につきましては、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分を完了していないため、暫定的な会計処理によって算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。